

地域人材ネット

身近な地域資源を活用した地域ならではの観光開発と
「食」等を活用した地域ブランドづくりによる地域活性化

木村 聡 (きむら さとし)

八戸せんべい汁研究所 所長
八戸広域観光推進協議会 観光コーディネーター



○ 登録者情報

所在地

青森県八戸市

略歴

2003年11月 八戸せんべい汁研究所(汁研/じるけん)を設立
2006年2月 第1回B級ご当地グルメの祭典「B-1グランプリin八戸」を開催
2011年 平成23年度地域づくり総務大臣表彰 団体表彰
2011年 NHK東北ふるさと賞受賞
2012年 第7回「B-1グランプリin北九州」ゴールドグランプリ受賞
2010年から「八戸広域観光推進協議会」の観光コーディネーターも兼務

○ 身近な地域資源を活用した地域ならではの観光開発と「食」等を活用した地域ブランドづくりによる地域活性化

取組の内容

10年ほど前まで地域外ではほとんど知られていなかった郷土料理「せんべい汁」を、八戸せんべい汁研究所という市民ボランティア団体を立ち上げ、業界ではなく市民主導によるプロモーション活動によって全国的なご当地グルメのブランドに育てました。

活動の一環で「B-1グランプリ」の企画を立案。2006年2月に、全国から地元のご当地グルメを活用してまちおこしに取り組む団体を八戸市に集めて、「第1回B級ご当地グルメの祭典！B-1グランプリin八戸」を開催しました。

B-1グランプリ開催時に、食によるまちおこしの全国組織「愛Bリーグ」を立ち上げ、第2回以降のB-1グランプリの主催団体として、イベントを継続する仕組みを作りました。

B-1グランプリはその後、2012年の第7回北九州大会まで毎年開催され、全国から63のまちおこし団体が出展し、来場者は2日間で60万人を超えるようなイベントになっています。

また、愛Bリーグ加盟団体は既に70を超えるなど、地元に根ざした日常食でまちおこしに取り組むことは全国的なブームになっています。



実績

・八戸せんべい汁による経済波及効果は、総務省の緑の分権推進会議の試算で、平成22年度で年間563億円とされています。

工夫した点や苦労した点

地域に昔からあった日常食をブランド化することは簡単ではなく、特に地元の人にとっては、ありふれた「せんべい汁」という郷土料理が、地域を活性化できるツール(宝)になることへの理解を深めることが大変でした。



ひとことPR

新しいものを創ることよりも、まずは地元にあるものを活かすことが大事です。

○ 参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

	1	地域経営改革		7	まちなか再生
○	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策		9	安心・安全なまちづくり
	4	企業立地促進		10	環境保全
	5	定住促進		11	その他
○	6	観光振興・交流			

関連ホームページ

八戸せんべい汁研究所	http://www.senbei-jiiru.com/index.html
------------	---

連絡先

メールアドレス	skimura[アットマーク]hi-net.ne.jp	その他	
---------	--	-----	--

※メールを送る際には[アットマーク]を『@』に変えてください。

戻る